



平成

22

年度

2010

本格的な会館運用を始めて3年目を迎え、会館運用とソフト面の充実を目的で老人介護施設職員の資質向上のため介護施設職員の要望に沿った研修内容の充実を図ると共に、介護技術向上のため実技を取り入れた研修を加え開催回数を増やし9回175施設224名の参加を得て、更なる地域福祉向上に寄与した。

ハード面の助成事業として、多気町の一人暮らし老人の福祉充実を図る目的で福祉仕様の送迎リフト車輛、普通リフト付送迎車輛と養護老人ホームの浴槽ろ過装置改修費用として100万円の助成金を行い、更に入所者のベット上からの転落時に衝撃を緩和するための衝撃緩和マットを助成事業の寄贈贈対象品目に加え各種車椅子、イオン発生清浄機等の備品の寄贈を行い、吉田逸郎理事長から目録並びに備品の贈呈を行った。

記念講演では、超高齢化社会を迎え、介護技術・人との接し方についてホワイト介護総合施設、北正美施設長の「高齢者の尊厳を守るケア!」と題した記念講演を行い、助成を受けた多気町社会福祉協議会、福田愛子事務局長と(社)弘仁会、世古口緑常務理事の2法人から寄贈並びに施設職員研修会開催の感謝及び助成品活用状況等法人の活動報告を受けました。

平成23年予定の介護保険法の改正に向け、要介護認定の見直し議論が盛んになる中、県内の特別養護老人ホームの定員が不足し2009年9月調査の待機者は1万人余りが入所を断られ、自宅や病院での待機を余儀なくされていることが分かった、三重県は65歳以上の人口に対する特別養護老人ホームの定員数が全国十番目位に低いという。

国内外を見ますと、年号が平成に変わってから22年になるが平成になってから20代目内閣総理大臣として6月に第94代内閣総理大臣に菅直人が任命

され、第93代内閣総理大臣の鳩山由紀夫の在任期間は262日と現行憲法下で5番目の短命政権となる。

相撲界も相次ぐ不祥事が起こり野球賭博や花札、賭けマージャン、賭けゴルフに67人が関わったとして7月の名古屋場所前には理事長以下12人の親方が降格、謹慎を、大嶽親方と大関琴光喜が解雇となり現役大関の解雇は始めてとなる、外部からの理事長代理を立てて場所を開催するも力士13人と床山1人を含む14人が謹慎による休場となる一大事件が発生し日本人同士の取り組みが少なくなり影響が出た、また外部からの表彰・賞品・スポンサーを辞退し、NHKテレビ中継も中止になりダイジェスト版での放送となり、介護施設入所者からは相撲放送が無くなり楽しみが少なくなったとの声が聞かれたが、横綱白鵬関が3場所連続全勝優勝で連勝を47と伸ばし双葉山・千代の富士につずき歴代3位の連勝記録を達成しての名古屋場所でもあった。秋場所ではNHKテレビ中継も復活し白鵬関が4場所連続全勝優勝で連勝を伸ばしていたが63連勝でストップ、双葉山に次ぎ歴代2位の連勝記録を達成し名古屋場所では中止した天皇賜杯を手にした。

7月には第22回参議院選挙があり民主党が惨敗し野党が過半数をしめた、2009年の衆議院選挙で民主党が衆議院の第1党になりねじれ国会は解消されたが今回の選挙でまた衆議院は与党、参議院は野党となりねじれ国会となる。

4月には宮崎県で口蹄疫が発生し29万頭の殺処分が行われ松阪市近郊の畜産農家は宮崎県の子牛を飼育している関係で義援金が送られた。近年にない異常気象によるゲリラ豪雨の発生が多く各地で増水・がけ崩れによる被害が続出し9月の台風では観測史上初めて福井県に上陸し東海地方を縦断して

太平洋に抜けるコースとなる、又京都では最高気温の39.9度を記録する。

高齢者社会が進むなか平均寿命で世界的に有名になっているが、戦中戦後の混乱や海外の移住先で死亡したが、死亡届や失踪宣告が提出されなかったケースが考えられると法務省は分析している、150歳だの200歳だのと、生きているはずのない超高齢者の書類上での生存が全国から次々と確認されるという珍現象が起き所在不明の高齢者が相次いでいる問題が発生し戸籍上は「生存」しているのに現住所が分からない百歳以上は、234,354人に上ることが分かった。平均寿命は国勢調査に基づいて計算されているので現在の平均寿命は差異がないものと考えられ、男性は98歳、女性は103歳以上のデータは計算に入れていない。「敬老の日」に総務省が発表した推計によると、65歳以上の高齢者は2,944万人で総人口に占める割合は23.1%となっている。

8月5日発生の子リ落盤事故で地下622mの坑道に33人が閉じ込められ事故発生から69日目に全員救出された。

12月に島根県、富山県で鳥インフルエンザが発生、2011年1月には宮崎県で感染が確認され41万羽の殺処分が実施され2007年の19万羽の殺処分をはるかに上回った、2月には三重県の紀宝町で初めて感染が確認され6万7千羽の殺処分をし、南伊勢町では1養鶏業者としては最大の24万羽の殺処分を行い、愛知県では卵を34万個処分し全国に広がる。

鹿児島県と宮崎県にまたがる霧島連山の新燃岳が噴火。52年ぶりの爆発的噴火を観測、活発な噴火活動が続く霧島山系・新燃(しんもえ)岳は1日朝、4度目の大規模噴火を起こし、鹿児島、宮崎両県の周辺自治体に緊張が走った。噴火に伴う空気の震え「空振」

によって鹿児島県霧島市では病院、ホテルの窓ガラスが割れ、けが人も出た。

夏からの異常気象の影響か日本海側では近年にない豪雪となり三重県でも2月に大雪に見舞われた。

2月22日、ニュージーランドのクライストチャーチ(首都ウェリントンから南西に約300km)においてマグニチュード6.3の直下型の地震が発生し、大きな被害が出で日本人とみられる名前は45人分あったが。被災した富山市立富山外国語専門学校生ら日本人犠牲者は28人となりました。

東日本大震災(東北地方太平洋沖地震)が3月11日午後2時46分ごろ、三陸沖を震源に東北地方から関東にかけて国内観測史上最大のM9.0の地震が発生。津波、火災などにより広範囲で甚大な被害がでた。過去に明治29年の明治三陸地震では死者・行方不明者を合わせて2万1,959人で昭和8年の昭和三陸地震では死者、1522人・行方不明者1,542人との被災を受けているが今回の地震は過去最大規模の被害を出した。

福島第1原発では4機が水蒸気爆発を起こし放射線もれが確認され半径30キロ以内の周辺住民には、避難指示や屋内退避指示が出され第2原発においても半径10キロ以内の周辺住民に避難指示が出された。また、十分な電力の供給が難しくなったことから、計画停電が実施された。

東北地方の太平洋沿岸部を中心に、16都道府県で31万8,000人余が避難所生活を強いられ東日本大震災発生から20日目を迎えた3月31日午後9時現在、死者は12都道府県で1万1,532人、行方不明者は1万6,441人で、犠牲者は合わせて2万7973人となり戦後65年で未曾有の災害となった。

平成22年度助成事業目録贈呈式



吉田逸郎理事長挨拶



記念講演

平成22年度助成事業目録贈呈式



寄贈品並びに目録贈呈



贈呈式

老人福祉施設等整備事業(助成・寄贈)

6,349,300円

平成22年度
寄贈品
一覧



普通自動車リフト付送迎車輛 / 1台



軽自動車リフト付送迎車輛（福祉仕様） / 1台



浴槽濾過装置工事助成/1台



自走式・介助用車椅子/35台



フルリクライニング車椅子/10台



マイチルト車椅子/4台



エアーマット/2台



離床センサー/7台



イオン発生機プラズマクラスター/4台



衝撃緩和マット/2台

多気町

老人福祉環境整備事業

1,230,000円

一人暮らしの高齢者・高齢者世帯・障害者等が公共交通機関の利用が困難な方や、公共交通機関の無い地域の送迎サービスに必要な

◆ 軽自動車リフト付送迎車輛（福祉仕様） 1台

多気町

社会福祉協議会

老人福祉環境整備事業

2,000,000円

天啓の里の活動車輛不足と現有車輛が平成10年登録分で老朽化により度重なる故障の多発による更新

◆ 普通自動車リフト付送迎車輛 1施設 1台

近 隣

- ・ 松阪市
- ・ 伊勢市
- ・ 多気郡
- ・ 度会郡

各老人福祉施設

老人福祉環境整備事業

1,601,700円

循環浴槽の濾過装置が23年経過し老朽化による更新

◆ 浴槽濾過装置（助成金 壹百万円） 1施設 一式

宮川福祉施設組合（養護 崇雲寮）

所有備品の老朽化、介護度の高い利用者が増加し不足と更新、移送・デーサービスの利用ニーズへの対応

◆ 自走式介助用車椅子 2施設 10台

（社）むつみ福祉会（特養 むつみ園）

（社）育心会（特養 多気天啓苑）

◆ フルリクライニング車椅子 3施設 3台

（社）玉城町社会福祉協議会（デイサービス）

（社）斎宮会（老保 みずほの里）

（社）北斗会（特養 大宮園）

◆ マイチルト車椅子 1施設 1台

（社）長寿会（通所 なでしこ苑）

ベットからの転落・転倒の危険性を速やかに把握するため

◆ 離床センサー 2施設 2台

（社）ゆり（老保 はなのその）

（医）吉創会（老人ホーム 虹の丘）

新型インフルエンザ・ノロウイルス感染予防、

◆ イオン発生機プラスマクラスター 1施設 1台

（社）明和町社会福祉協議会（明和の里）

ベットからの転落・転倒により重大な事故を未然に防ぐため、

◆ 衝撃緩和マット 1施設 2台

（社）三重豊生会（特養 多気彩幸）

左記以外の
県下各市町の
老人福祉施設

老人福祉環境整備事業

1,517,600円

車椅子利用者の増加による不足と老朽化による更新、利用者の高齢・重度化に伴う利用者増と老朽化による更新・重度化に伴う機能の高い車椅子の提供・貸出用車椅子の不足、

◆ 自走式介助用車椅子 5施設 25台

- (社) 長茂会 (特養 あかつき)
- (社) 菊寿会 (特養 みやま園)
- (社) 光風会 (特養 アイリス)
- (社) 千草きらら会 (デイ 城山苑)
- (社) 恵成会 (デイ あおぞら)

◆ フルリクライニング車椅子 7施設 7台

- (社) 素問会 (特養 芹の里)
- (社) 明合乃里会 (老保 あのう)
- (社) さつき福祉会 (複合型 瑞晃苑)
- (社) 鈴鹿市社会福祉協議会 (貸出 本所)
- (社) 慈幸会 (特養 すいせんの里)
- (社) 健和会 (特養 パークレジデンス)
- (医) 福慈会 (老保 ふくにし)

◆ マイチルト車椅子 3施設 3台

- (社) 熊野市社会福祉協議会 (デイ 飛鳥五郷)
- (社) 福寿会 (特養 福寿園)
- (社) こもはら福祉会 (特養 はなの里)

利用者の重度化で、寝たきりが増加しているため褥創予防、備品の不足、

◆ エアーマット 2施設 2台

- (社) 鈴鹿福祉会 (特養 鈴鹿グリーンホーム)
- (社) 英水会 (特養 桜英水苑)

身体機能の重度化、利用者の寝たきりや認知症が増加しベットからの転倒防止、安全確保に不可欠

◆ 離床センサー 5施設 5台

- (社) 弘仁会 (特養 国津園)
- 紀南特養ホーム組合 (ホーム 宝寿園)
- (社) 杏南会 (特養 たちばな園)
- (社) 紀和会 (特養 熊南)
- (社) 絆 (特養 みえ愛の里)

インフルエンザの予防対策、感染症予防対策、

◆ イオン発生機プラズマクラスター 3施設 3台

- (社) 菰野町社会福祉協議会 (デイ けやき)
- (社) 天年会 (特養 かなしょうず園)
- (医) 井上内科病院 (老保 萩の原)

第1回 介護施設職員接遇研修会（3年未満）（13）

（参加 24施設 42名）5月27日

法人（愛恵会・宮川福祉施設組合・度会町社協・いろどり福祉会・こしば福祉会・長寿会・絆・むつみ福祉会・桜木記念病院・エイジハウス・こもはら福祉会・青松園・井上内科病院・恵成会・菊寿会・司会・松阪市社協・三重高齢者福祉会・玉城町社協・青山福祉会・さくら福祉会・紀南特養ホーム組合・明合乃里）

介護職勤務1年から3年未満の職員を対象とした接遇研修も4回目を迎え福祉業務に携わる職員も新卒から人生経験豊富な職員まで幅広い参加となり希望者も増え介護職の仕事をして行く上で利用者への対応の仕方の難しさを勉強し相手の鏡となり素直な心でフィードバックし、お互いの成長の手伝をしていただくための研修。



講演 “心からのサービス” 介護従事者の接遇マナー

講師 エム・アール・シー 足坂三長・井ノ口美津子

1. オリエンテーション
2. 社会人の心構え
3. 職場のエチケット
4. 第一印象の大切さ。
5. 挨拶と声の出し方
6. マナーの基本 I・II・III・IV・V
7. 職場での言葉づかい
8. 話し方の工夫
9. 美しい声
10. 訪問対応の基本、実習
11. 電話対応の基本、用語、実習
12. サービスの心得

受講生の感想

利用者宅への送迎の気配り、難しさ、利用者に対しての笑顔での接し方の大切さ等、実技指導等実践を取り入れた研修内容のため楽しく受けられ、朝の緊張が解れ研修会終了時には他施設職員との意見交換も弾み、充実した研修であったとの感想が聞かれました。

第2回 介護施設職員接遇研修会（4年以上）（14）

（参加 23施設 41名）6月17日

法人（紀南特養ホーム組合・玉城町社協・さくら福祉会・松阪市社協・大紀町社協・絆・こしば福祉会・度会町社協・愛恵会・宮川福祉施設組合・長寿会・菊寿会・むつみ福祉会・三重高齢者福祉会・恵成会・司会・青山福祉会・伊勢市社協・桜木記念病院・明合乃里・いろどり福祉会・青松園）

介護職勤務4年以上の職員を対象とした接遇研修で、研修会を重ねるごとに熱心に受講され素直な気持ちで研修を精一杯取り組んでられる事が見て取れます。

経営者の考え方も変わり研修の必要性を認識し職員教育に力を入れてこられたのか少しずつではありますが新たに参加される施設も増えて受講する職員も30名定員をはるかに超えるところまでまいりましたが、常連な施設職員の参加ははがめないと感じます。介護職として利用者に対しての声掛けやコミュニケーションの取り方等、接遇の必要性の認識を高めた。



講演 “心からのサービス” 介護従事者の接遇マナー

講師 エム・アール・シー 足坂三長・井ノ口美津子

1. オリエンテーション
2. 話し方の工夫
3. 職場での話し方
4. 介護の上手な声かけ
5. 話し方・聞き方
6. コミュニケーション

7. 応接の基本動作
8. 第一印象と挨拶
9. 表情と態度
10. 身嗜みと言葉遣い
11. 来客と訪問対応
12. 来客対応の用語
13. 電話対応の基本
14. 電話対応の用語
15. 苦情の電話対応
16. 電話対応（こんな時）
17. 接客者の心構え

受講生の感想

仕事から高齢な利用者が対象なのでゆっくりと分かりやすく丁寧に話すことの大切さ、電話対応の実習では早口になることに気付かれた参加者が多かった。自己反省的な感想が多く聞かれ、職場での伝達、実践、研修の必要性が聞かれ、自らも研修の成果を出していく心構えが見受けられました。

第3回 認知症介護研修会（2）

（参加 26施設 26名）7月15日

法人（紀南特養ホーム組合・ウエルケア・素問会・名張厚生協会・三重郡老人福祉組合・愛恵会・長茂会・青松園・名張市社協・敬愛会・いろどり福祉会・千草きらら会・大紀町社協・宮川福祉施設組合・三重豊生会・太陽の里・多気町社協・鈴鹿福祉会・度会町社協・育心会・伊勢市社協・エイジハウス・斎宮会・玉城町社協・ケアハイツ玉城・絆）

高齢社会は「来るべき」ではなく、すでに到来しています。

介護保険法が施行されたり、政府も色々な制度を考えていますが現実にはそう簡単なものではありません。特に、認知症高齢者の問題は社会の裏面に隠され親族にそういう人がいない限りは問題意識すら喚起しません。

一般的には「疾患の状態」ではなく、単なる老化の一形態であると考えられているからです。

しかし、実は認知症対策こそが今、最も必要とされています。どう解決していくかは、それこそ我々が総力をあげてかからなければならない問題です。

その前に我々は現状を的確に把握する必要があります。

認知症高齢者の方に対する介護サービスの提供には、より高度な専門性が必要なことから高齢者介護実務者及びその指導的立場にある者に対し認知症介護に関する研修を実施し、認知症介護技術の向上を図ることを目的とします。

施設において認知症の利用者が増える中、介護職員の介護対応が切実な問題として起こっております。今回の研修は「認知症の家族の生活」と「実際に認知症になった家族との絆の講演」のDVD 2本を見てグループでの意見交換をしていただく研修会にしたい。

認知症の介護は何をしたいかを察知して出来るだけ気持ちを大事にし出来るように支援する、介護者の都合で認知症の人の行動を抑え込んだり介護潰けにしない。

記憶が不安定になっているので「覚えている」とか以前のことを聞き出すようなことはしないでアドバイスをするような接し方をする。

この研修会開催の希望が多くより介護力アップのため研修機会を増やし参加者は1法人1名に制限して2回に分け実施した。



講演 認知症介護研修 「認知症の人へのかかわりを振り返る」

講師 サポートくら 大西道子、野口美枝

1. 認知症の人の心の理解と求めているケア
パート1 映画「折り梅」観賞 まとめ感想文
2. 認知症の人の心の理解と求めているケア
パート2 「クリスティーン・ブライアン講演」から考える観賞
まとめ感想文
3. グループワーク
自己紹介・「折り梅」DVDを観賞して感じたこと 発表・まとめ
4. 認知症の人の行動障害の理解と対応
 - 1、幻覚・妄想
 - 2、ふるに入らない・うまく入れない
 - 3、徘徊
 - 4、暴言・暴力
 - 5、放尿・方便
5. 認知症の人のコミュニケーションのとり方
笑顔、アイコンタクト・言うことを繰り返す・優しく触れる・思い出話をする

受講生の感想

認知症の方の思いと、介護者との視点とでは多少の差がある、実体験のDVDを使っただけの研修を取り入れていたのが印象に残った。

家族の絆には勝てないが、施設職員であるわれわれ介護者が利用者の心にどれだけ入り込めるかを考えさせられた。他の施設職員の意見が聞けて参考になった。

第4回 認知症介護研修会（3）

（参加 28施設 28名）8月26日

法人（紀南特養ホーム組合・素問会・三重郡老人施設組合・井上内科病院・愛恵会・福慈会・紀和会・長茂会・福寿会・敬愛会・敬親会・大紀町社協・宮川福祉施設組合・三重豊生会・太陽の里・多気町社協・鈴鹿福祉会・度会町社協・育心会・エイジハウス・松阪地区医師会・斎宮会・伊勢市社協・玉城町社協・天年会・菊寿会・絆・南伊勢町社協）

高齢社会は「来るべき」ではなく、すでに到来しています。

介護保険法が施行されたり、政府も色々な制度を考えていますが、現実にはそう簡単なものではありません。特に、認知症高齢者の問題は社会の裏面に隠され、親族にそういう人がいない限りは、問題意識すら喚起しません。

一般的には「疾患の状態」ではなく、単なる老化の一形態であると考えられているからです。

しかし、実は認知症対策こそが今、最も必要とされています。どう解決していくかは、それこそ我々が総力をあげてかからなければならない問題です。

その前に我々は現状を的確に把握する必要があります。

認知症高齢者の方に対する介護サービスの提供には、より高度な専門性が必要なことから高齢者介護実務者及びその指導的立場にある者に対し認知症介護に関する研修を実施し認知症介護技術の向上を図ることを目的とします。

施設において認知症の利用者が増える中、介護職員の介護対応が切実な問題として起こっております。今回の研修は「認知症の家族の生活」と「実際に認知症になった家族との絆の講演」のDVD 2本を見てグループでの意見交換をしていただく研修会にしたい。

認知症の介護は何をしたいかを察知して出来るだけ気持ちを大事にし出来るように支援する、介護者の都合で認知症の人の行動を抑え込んだり介護責めにしない。

記憶が不安定になっているので「覚えている」とか以前のことを聞き出すようなことはしないでアドバイスをするような接し方をします。

この研修会開催の希望が多くより介護力アップのため研修機会を増やし参加者は1法人1名に制限して2回に分け実施した。



講演 認知症介護研修「認知症の人へのかかわりを振り返る」

講師 サポートさくら 大西道子、野口美枝

1. 認知症の人の心の理解と求めているケア
パート1 映画「折り梅」観賞 まとめ感想文
2. 認知症の人の心の理解と求めているケア
パート2 「クリスティーヌ・ブライアン講演」から考える観賞
まとめ感想文
3. グループワーク
自己紹介・「折り梅」DVDを観賞して感じたこと 発表・まとめ
4. 認知症の人の行動障害の理解と対応
 - 1、幻覚・妄想
 - 2、ふるに入らない・うまく入れない
 - 3、徘徊
 - 4、暴言・暴力
 - 5、放尿・方便
5. 認知症の人のコミュニケーションのとり方
笑顔、アイコンタクト・言うことを繰り返す・優しく触れる・思い出話をする

受講生の感想

認知症になっても人としての感情は残っていることを認識できた。考え直す所や新しい発見ができた。認知症の対応の見直しになった。

一人一人に合った介護の必要性を感じた。

第5回 介護職員研修会（話し方研修と意見交換）（2）

（参加 9施設 12名）9月16日

法人（吉創会・三重高齢者福祉会・伊勢市社協・大紀町・愛恵会・宮川福祉施設組合・度会町社協・永甲会・司会）

介護・福祉施設の利用者やその家族の期待するサービスを、常に意識しながら行動することが基本となる利用者本位のサービスの実施が求められる時代です。

また、乳幼児から老人、障害者と対象も広く、入所・通所・訪問・居宅介護支援などと形態も様々で従事する職員個人の知識やスキルなどの幅の広さが求められます。

しかし、これらの組織は施設の目的に適した編成になっていることが多く職員一人ひとりが持つノウハウ・知識・経験を活かすために施設を越えた交流が重要になりさまざまな悩み、意見を出し合って一つの解決策を引き出しグループ発表をしながら個人の質を高めていきます。

関係者の対話とコミュニケーションによる経験の共有が仕事の質の向上に大きな影響を与えることから日頃の経験が気楽に交換できる場の設定も重要と言えます。

また、「福祉の受け手はお客様」「選ばれる福祉サービス」の時代です。素のために“質の高いサービス”を生み出す努力が必要です、利用者がお客様となれば今まで遠慮して口にしなかった苦情の解決も求められてきま

す、お客様の希望に適切に応えられるために福祉の分野にも企業努力が求められるのです。

福祉改革により、これからの福祉事業の経営は「顧客本位」と「全員参加」と「継続的な改善」を進める活動が不可欠となってきます。

たとえば、職場にはいろいろな問題が発生するものです、その問題を放っておくと段々と大きくなり取り返しのつかない状況に追い込まれてしまいます、それらの問題を日常業務の中で解決していくことが“利用者へのサービス”につながっていきます。

現場で働く皆さんの“聞きたいこと”“解決したいこと”を他の福祉施設の方々と交流を深めながら体系的に解決を図っていく研修です。



講演 話し方研修と意見交換

講師 エム・アール・シー 足坂三長・井ノ口美津子

1. オリエンテーション
2. 意見交換会の実施
活力ある職場づくり、ブレインストーミング、テーマの選考・選定、現状の分析
3. 意見交換の発表
グループ毎に発表、質問と追加意見
4. 利用者との会話
話す・聞くの心得、表情の大切さ、言葉づかい、話し方の工夫（発声）
5. 利用者との対応実習
美しい発声、音の長短・強弱・速さ、好感を与える話し方、介護の上手な声かけ
6. 話し方の実習
あなたは話し上手

受講生の感想

意見交換で同じ悩みの問題をかかえているのが分かった。施設間の情報交換が出来てよかった。話し方は個人の個性や風土があるのですぐに直すの

は難しい。利用者さんへの接し方・関わり方の見直しになった。

書くことが少なくなってきたので漢字や文章を作るのに苦労した。

いろんな施設との交流、意見交換が出来悩みの解決にも繋がった。

第6回 福祉レクリエーション研修会 (3)

(参加 18施設 22名) 10月14日

法人 (杏南会・多気町社協・ウエルケア・紀和会・伊勢市社協・永甲会・井上内科病院・宮川福祉施設組合・度会町社協・大紀町社協・玉城町社協・斎宮会・愛恵会・三重高齢者福祉会・菊寿会・司会)

一人ひとりの参加者が、レクリエーション活動を通して仲間との交流や、機能低下を防止し、日々の生活を豊かにして、生きる意欲につなげる。

高齢者や障害者のレクリエーションはハンディキャップやマイナス面に着目せず、長所・潜在能力・自在能力や可能性の着目して生活を前向きに変えていく力を発揮できるようなレクリエーション援助をしていく。

レクリエーションの中にゲームを取り入れて利用者さんを楽しく生活の場に繋げて行く。

福祉レクリエーションは楽しむ事が大事で出来るという喜びを与えることも大切なことで福祉現場ではその人の持っている残存機能に満足するのではなく少しずつ階段を登るようにしていき出来ないからと切り捨てるのではなく引き出してやる事が大切である、また競争させるのではなく共感と考える。

毎日楽しく笑って生活できれば健康で生きがいを持って生活できれば・・・レクリエーション財を通してアプローチ法を学ぶ。



講演 福祉レクリエーション

講師 三重県レクリエーション協会 加納安子

1. レクリエーション
語源、とは、意義、目的
2. 福祉レクリエーション

- 福祉とは、捉え方、活用
- レクリエーション支援のポイント
伝達技術・展開・演出等の支援法
 - 実技指導
導入、体操、展開、自己表現

受講生の感想

実技指導を多く取り入れて楽しいレク研修でした。レクリエーションのマンネリ化の打開策が見つかった。講師の話術に引かれ実技やゲームを入れた研修で1日が楽しく受けられた。遊びながら機能回復が出来るのは一番のレクリエーション。

第7回 介護技術研修会（1）

（参加 19施設 24名）11月25日

法人（紀和会・ウエルケア・青松園・長寿会・紀南特養ホーム組合・菰野町社協・玉城町・三重豊生会・敬愛会・素問会・玉城町社協・むつみ福祉会・斎宮会・北斗会・明合乃里会・グリーンセンター福祉会・度会町社協・太陽の里・伊勢市社協）

食事と移乗・移動の介助の実技を中心とした研修内容となります。

介護は、食べる、排泄するにはじまり、衣服の着脱、洗面、入浴そして移乗、移動など日常生活の営みに直接に関わる援助です。また、介護は人の手を介して行われる人的行為でありコミュニケーションの場でもある。

実際の介護現場では、介護される高齢者の身体の状況や能力、生活習慣、意欲に加え、介護者の状況や物理的な要素も違っており介護の方法は人それぞれ違います。また、介護は先が見えません。いったいいつ終わるのか、どのくらいの期間が続くかわからない辛さを抱えています。無理が長く続くと心と体のバランスを崩すこともあります。介護される高齢者にとって笑顔で介護してもらえるのが一番です。自分自身のためにも介護される高齢者のためにも一人で悩まず、専門機関に相談しサービスを利用したり家族の手をかりながら長が続きする介護をしていくことが大切なのです。



講演 介護技術研修（知っておきたい介護技術）

講師 サポートくら 大西道子、野口美枝

1. 食事介助

講義・演習・グループワーク・発表

2. 移乗・移動の介助

講義・演習

受講生の感想

介護される経験ができ利用者の感じ方、気持ちが少しわかった、講師自らの体験を研修に取り入れていたので分かりやすい研修でした、介護される立場になっての研修体験が出来た。

第8回 介護職場の課題解決研修会（5）

（参加 14施設 14名）12月16日

法人（紀和会・ウエルケア・多気町社協・斎宮会・青松園・敬愛会・紀南特養ホーム組合・菊寿会・度会町社協・三重高齢者福祉会・永甲会・明合乃里会・伊勢市社協・むつみ福祉会）

この、研修は介護・福祉施設の利用者やその家族の期待するサービスを、常に意識しながら行動することが基本となる利用者本位のサービスの実施が求められる職場です。

また、乳幼児から老人、障害者と対象も広く、入所・通所・訪問・居宅介護支援などと形態も様々で従事する職員個人の知識やスキルなどの幅の広さが求められます。

しかし、これらの組織は施設の目的に適した編成になっていることが多く、職員一人ひとりが持つノウハウ・知識・経験を活かすために、施設を越えた交流が重要になってきます。

そのため、関係者の対話とコミュニケーションによる経験の共有が仕事の質の向上に大きな影響を与えることから日頃の経験が気楽に交換できる場の設定も重要と言えます。

また、「福祉の受け手はお客様」「選ばれる福祉サービス」の時代です。素のために“質の高いサービス”を生み出す努力が必要です、利用者がお客様となれば今まで遠慮して口にしなかった苦情の解決も求められてきます、お客様の希望に適切に応えられるために福祉の分野にも企業努力が求められるのです。

福祉改革により、これからの福祉事業の経営は「顧客本位」と「全員参加」と「継続的な改善」を進める活動が不可欠となってきます。

たとえば、職場にはいろいろな問題が発生するものです、その問題を放っておくと段々と大きくなり取り返しのつかない状況に追い込まれてしまいます。

1：29：300の法則（ハインリヒの法則）、これは一つの問題の奥には29もの中問題があり、29の中問題の奥には300もの小問題があるとされています、それらの問題を日常業務の中で解決していくことが“利用者へのサービス”につながっていきます。

民間企業では、1948年からQC手法を導入し、そのQCサークル活動を

通して企業が発展してきました、既に、福祉の職場でもQCサークル活動に取り組んでいる所もあります。

問題の解決には有効的で且つ効率的な『手段や方法』が必要です。問題の解決を体系的に捉えて解決を図っていく手段である『QC手法』を勉強します。



講演 課題解決研修会“職場の改善は、自分たちで”

講師 エム・アール・シー 足坂三長・井ノ口美津子

1. 職場の問題発見
2. 問題発見の着眼点
3. 問題点の洗い出し
4. 改善のステップ
(改善ステップの例・ブレinstoryミング)
5. QC 7つの手法N a 1
(バレット図の作成・テーマの選定・テーマ名の付け方)
6. QC 7つの手法N a 2
(特性要因図の作成・対策の立て方・対策の立案)
7. QC 7つの手法N a 3
(グラフの具体例)
8. QC 7つの手法N a 4
(チェックシート)
9. QCサークル活動
(用語の説明・品質管理の定義・QC 7サークル活動とは・QC 7サークル活動の意義)

受講生の感想

一日の研修では理解できない点があった、同じ研修を受けたら理解力が増すので受けたい、職場全員で解決すべきと感じた、グループワークで他の施設の意見も聞いた、問題解決には時間がかかり職場では否定的な意見も出るのではないかな。

第9回 リーダー研修会 (5)

(参加 14施設 15名) 1月20日

法人 (ウエルケア・多気町社協・明合乃里会・エイジハウス・敬愛会・紀南特養ホーム組合・度会町社協・三重高齢者福祉会・斎宮会・大紀町社協・青松会・むつみ福祉会・伊勢市社協)

施設では人材がとても大切です、また職場においても人材は業績を大きく影響を与えます職員の中でもリーダーになる職員の影響も大きくなります。

今、注目されております職員研修で集団を統率し人を動かしリーダーシップを発揮していく職員の養成、職場の中でも部下に対して「期待」「関心」を持ち成長に必要なポイントにきずかせ自己啓発をさせ成長を促し部下の指導をしていく上で特に必要になるコーチング技術の習得を目的とした研修であります。



講演 リーダー研修 “CSの心を高めよう!”

講師 エム・アール・シー 足坂三長・井ノ口美津子

1. オリエンテーション
2. チームワーク
3. コミュニケーション
4. コーチングの基礎、実践、実習、話法
5. 話し方の工夫 (話し方・聞き方のマナー)
6. タイプ別コーチング
7. リーダーシップ
8. 部下指導のあり方
9. リーダーの心得

受講生の感想

チームワークの大切さを痛感、リーダーとしての目標の持ち方の大切さを学んだ、リーダーとしての役割を果たしていかなければと痛感、良く聞き良く話し合う事の大切さの研修会であった。

第13回吉田福祉基金杯GB大会

後援（財）吉田福祉基金 5月16日

今年度も全国大会に出場し、常連と成り多気町のPRにも一役かっている多気町ゲートボール協会所属の天啓クラブが主体で大会運営が実施された。

ゲートボール熱も今だ衰えることなく沢山のチームから大会参加の希望が伝えられより多くのチームが参加出来るよう改修なった多気スポーツ公園に本大会を移し天候に恵まれゲートボール会場に春の日差しがそそぐなか、田村憲久衆議院議員を始め多数の来賓を迎え県下72チームから440名の役員、選手が参加し選手たちは、優勝に向かい一つでも多くのゲートを通過させようと真剣にプレーをしチーム間の融和を図りながら和気あいあいで開催する。

優勝 伊賀オールズ（伊賀市）チーム
準優勝 北小松（四日市市）チーム
3位 喜楽（松阪市）チーム



久保行央大会会長挨拶



開会式



選手宣誓



大会競技



優勝 伊賀オールズ（伊賀市）チーム